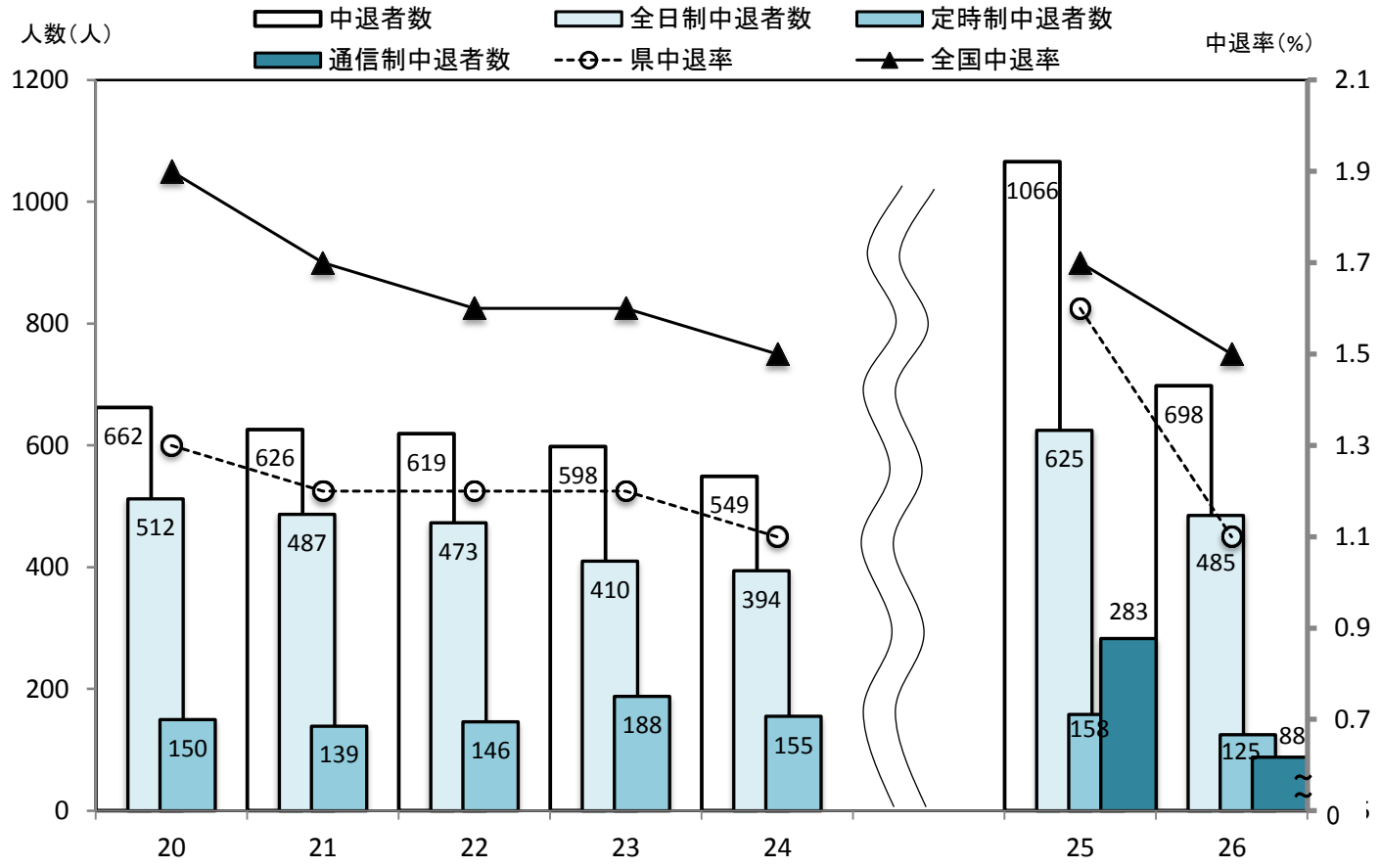


平成26年度 高等学校中途退学者の状況について
(県内公立・私立高等学校)

心の支援課

1 年度別推移



年度	20	21	22	23	24	25	26
中退者数	662	626	619	598	549	1,066	698
全日制	512	487	473	410	394	625	485
定時制	150	139	146	188	155	158	125
通信制	—	—	—	—	—	283	88
前年度増減	662	▲ 36	▲ 7	▲ 21	▲ 49	1066	▲ 368
中退率 (%)	県	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.6
	全国	1.9	1.7	1.6	1.6	1.5	1.7

- (注) 1 調査名:文部科学省「平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
 2 平成24年度までは、公立学校全日制・定時制課程の数値
 3 平成25年度は、公立・私立学校全日制・定時制・通信制課程の数値
 4 平成25年度から、公立・私立学校通信制課程を調査対象とした。
 5 中退率＝中途退学者数÷年度当初の在籍者×100

・公立・私立を合わせた高等学校中途退学者数は前年度に比べ368人減少した。
(課程別では、全日制140人減、定時制33人減、通信制195人減である。)

2 事由別中途退学者数

退学事由	長野県(公立)				長野県(私立)				26年度構成比(%)	
	25年度		26年度		25年度		26年度		県	全国
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%		
学業不振	45	6.9	9	2.0	7	3.6	41	17.3	7.2	7.7
学校生活・学業不適應	371	57.3	200	43.4	72	37.5	62	26.2	37.5	34.9
もともと高校生活に熱意がない	71	11.0	40	8.7	31	16.1	16	6.8	8.0	13.9
授業に興味がない	121	18.7	59	12.8	11	5.7	3	1.3	8.9	5.4
人間関係がうまく保てない	63	9.7	37	8.0	8	4.2	15	6.3	7.4	6.0
学校の雰囲気がない	43	6.6	28	6.1	17	8.9	19	8.0	6.7	4.4
その他	73	11.3	36	7.8	5	2.6	9	3.8	6.4	5.1
進路変更	125	19.3	157	34.1	61	31.8	76	32.1	33.4	34.8
別の高校への入学を希望	32	4.9	34	7.4	17	8.9	57	24.1	13.0	12.1
専修・各種学校への入学を希望	7	1.1	9	2.0	0	0.0	0	0.0	1.3	1.4
就職を希望	48	7.4	82	17.8	22	11.5	10	4.2	13.2	12.7
高卒認定試験受験を希望	19	2.9	11	2.4	4	2.1	4	1.7	2.1	3.1
その他	19	2.9	21	4.6	18	9.4	5	2.1	3.7	5.5
病気・怪我・死亡	29	4.5	34	7.4	14	7.3	12	5.1	6.6	4.0
経済的理由	5	0.8	4	0.9	9	4.7	3	1.3	1.0	2.3
家庭の事情	28	4.3	22	4.8	6	3.1	22	9.3	6.3	4.3
問題行動等	26	4.0	19	4.1	19	9.9	9	3.8	4.0	4.5
その他の理由	19	2.9	16	3.5	4	2.1	12	5.1	4.0	7.6
中途退学者数	648	100	461	100	192	100	237	100	100	100

* 私立のうち、25年度は特区制度により株式会社等が設置する高等学校通信制の数値は除く

3 課題と取組の方向性

(1) 現状

- ・ 公立・私立を合わせた高等学校中途退学者数は前年度に比べ減少
- ・ 課程別では、全日制140人、定時制33人、通信制で195人減少

(2) 課題

- ・ 学校生活、学業不適應への早期対応及び基礎学力の定着を図ることによる学習意欲の向上
- ・ 全日制、単位制、定時制生徒の特性を捉えた支援体制づくりの構築
- ・ 不登校生徒への学習、学校生活への支援
- ・ 中途退学者に対する、退学後の学習や生活を見据えた進路支援

(3) 今後の対応

- ① 高等学校中途退学者数減少の分析と支援方法の共有化
 - ・ 中途退学者数減少の原因、背景を中心とした分析、年度比較
 - ・ 中途退学者数減少に効果のあった支援体制、取組の学校間での共有化
- ② 新入生に対する早期適応支援と指導體制づくり
 - ・ 入学時のオリエンテーションなどを利用したスムーズな高校生活への移行
 - ・ ホームルームやクラブ、生徒会活動を通じての良好な人間関係づくり
 - ・ 高校生活の目的意識を高めるためのキャリア教育の充実
- ③ 学習意欲を高める取り組み
 - ・ 教材や授業を工夫し「わかる授業」の実践
 - ・ 授業への躓きや苦手意識を持つ生徒への「学びなおし」講座や補習授業の実施
- ④ 校内相談体制の整備
 - ・ 学習や学校生活に悩みを抱える生徒へのケース会議等、チームとしての支援
 - ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の人材活用による支援体制の確立
- ⑤ 中途退学者の社会的自立に向けた支援
 - ・ 退学後の支援に向けて、県が作成したリーフレットの活用や地域の就業支援組織との連携